



生きものの“つぶやき”：  
**「草と同化して気づかなかった」**

エッセイ：

庭で遊んでいる時に、少し何か跳ねた気がして近くまで見に行きました。でも、何もいなかった。けれどもそれは見えていないだけで私が動くとバッタがまた跳ねた。気になって近くまで寄って見てみるとそこにはバッタがいました。ほんとに芝生に顔を近づけないと全くわからなかったです。私はその時に、他の敵から食べられないようにするために自分の身を守るためにここまで芝生と同じ色や形になっていることを実感しました。生きものの工夫が見えた一面でした。(214字)

生きものの紹介：

ショウリョウバッタ

撮影場所・日時：

自宅の玄関 2022年9月23日

応募者の自己紹介：

1. 石山羽南／佐野日本大学高等学校・1年
2. 所属：特になし

審査員からのコメント：

同化の言葉がふさわしい。しばらく眺めてようやく存在に気づきました。擬態は面白いですね。